

御 菌 小 だ よ い

平成26年7月14日
伊勢市立御菌小学校

<http://www.ise-mie.ed.jp/~misono-e/>

No. 118

校長室より

先日の研修会で、講師の先生がこんな調査結果を教えてくださいました。「1歳から1歳7カ月までの赤ちゃん140人(はいはいの段階からよちよち歩きに移行し始めた段階の赤ちゃんです。)が、一日に何歩歩いたか、どれくらいの距離を歩いたか、そして何度転んだかを調べるため、自宅と特設の遊び部屋にカメラを設置して、その行動を記録した。」という内容でした。その結果の平均は、次の通りです。

- ① 赤ちゃんの1日に歩いた平均歩数 → 約15000歩
- ② 赤ちゃんの1日に歩いた平均距離 → 約4km
- ③ 赤ちゃんの1日に転んだ平均回数 → 約100回



玉城町のひまわり

結果を聞いて、本当に驚きました。大人でも10000歩を歩くのも大変なのに、赤ちゃんがそれ以上歩いたというのですから。もちろん、玩具を見せて歩かせたりした訳ではありません。1時間で69回も転んだ子がいたそうなのですが、みんな立ち上がるたびに、倒れずに歩ける距離を伸ばし、歩行速度も上がっていたそうです。特に褒める訳でも、ご褒美をあげる訳でもないのに、どうして赤ちゃんたちは転んでも転んでも歩き続けたのでしょうか。講師の先生は、これを「内発的動機づけ」と説明されました。つまり、赤ちゃんは「ほめてくれるからうれしい」のではなく、「自分ができるようになったからうれしい」のです。一歩ずつ自分が変わっていくことを楽しんでいるのだとおっしゃいました。

純粹に「今までわからなかったことが、分かるようになってうれしい」とか、「今までできなかつたことが、できるようになったからうれしい」ということが動機になって、勉強やスポーツに取り組んだとき、その子は大きく伸びる・・・重要なことですが、たいへん難しいことでもあります。何とか今年の夏休みは、「終わりが近づいたからしかたなく」ではなく、「自分を高めるために」宿題に取り組んでくれればいいのですがねえ。

いせ子どもチャレンジ教室 ～パン作り教室～

7月5日(土)、今年度も伊勢文化サークル協会御菌支部の皆様
の主催で、子どもチャレンジ教室が開催されました。今回はパン作
り教室でした。朝からハートプラザに集まった子どもたちは、文化
サークル協会のみなさんの話をしっかり聴き、一生懸命にパンづく



パン教室

りに取り組んでいました。私は残念ながら最後までいられませんでした。きっと美味しいピザができたのではないかと思います。伊勢文化サークル協会御菌支部の皆様、本当にありがとうございました。

救命法講習会 ②

6月20日に続いて、第二回の救命法講習会が、7月5日（土）に御菌公民館で実施されました。すでに全国から悲しい水の事故等が報道されている中、参加されたみなさんは、真剣に消防署の方の話を聞き、真剣に心肺蘇生法やAEDの使い方を実践されていました。予定していた時間を延長するほど、頑張ってくださいました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



救命法講習会

御菌の「み」 ～その後～

園芸委員会の皆さんが手入れしてくれている、運動場の花壇の「み」。ずいぶん大きく成長しました。育つ速さの違いで、「み」の形が崩れてしまうのではないかと心配していましたが、今のところとても順調です。ただ、周りの花や草の丈も大きくなり、あまり目立たなくなってきました。それでも、思わぬところからひとり生えのノースポールの白い花が顔を出すなど、とても楽しいです。台風にも、大雨にも負けずに頑張っている花壇。次は猛烈な夏の暑さとの対決が待っています。



御菌の「み」

台風一過

台風と言えば、以前なら秋に来るものと相場が決まっていた。夏に来る台風は、どちらかというと、風よりも雨が心配な「雨台風」が主流でした。ところが、今回の台風は7月の初旬に来たのにもかかわらず、沖縄を通過するときには、930hPaという猛烈な強さでした。瞬間最大風速70mなんて、考えられないですね。この地方に最接近したときには、勢力もかなり衰えていましたが、それでも各地に大きな被害をもたらしました。異常気象という言葉を使ってしまえば簡単なことなのでしょうが、これから先がとても心配になりますね。



台風の風に揺れるハナミズキ

木曜日は、授業をカットして13時に下校しました。緊急の措置であったにもかかわらず、素早い対応をしていただき、本当にありがとうございました。また、学校待機のお家に、お迎えの時間をご案内しませんでした。大変ご迷惑をおかけいたしました。申し訳ありませんでした。これから、いよいよ本格的な台風のシーズンとなります。今回のような対応をしなければならぬことが、何度かあるかもしれません。その折には、どうぞよろしく願いいたします。